

独立行政法人国立美術館「明治150年」関連事業について





東京国立近代美術館

京都国立近代美術館

（各館概要）

<p>本館 20世紀を中心とした近・現代の日本画・洋画・彫刻や現代アートなどの美術作品を所蔵し、所蔵作品展・企画展を実施</p>	<p>工芸館 明治洋風煉瓦造建築として重要文化財に指定された旧近衛師団司令部庁舎を展示施設として整備し、明治以降今日までの工芸・デザイン作品を収集し、展覧会を実施</p>	<p>フィルムセンター 映画フィルムや映画関連資料を収集し、上映会、展覧会を実施</p>	<p>近・現代美術に関するうち特に関西を中心とした西日本の美術作品を収集し、所蔵作品展・企画展を実施</p>
---	--	---	--

（展示概要）

<p>所蔵作品展「明治後期の美術」（仮称） 2018年6月5日（火）～ 9月17日（日） 所蔵作品展示室3階10室 ○文部省美術展覧会（文展）の初期出品作品をはじめとする日本画、洋画、彫刻、水彩画等の作品により明治後半期の美術の様子を紹介する。</p>  <p>重要文化財 新海竹太郎《ゆあみ》</p>	<p>所蔵作品展「名工の明治」（仮称） 2018年3月1日（木）～ 5月27日（日） ○明治期を代表する金工品である鈴木長吉の《十二の鷹》の修復が完了したことから、工芸館の名品約100点とともにお披露目する。</p>  <p>鈴木長吉《十二の鷹》</p>	<p>明治150年企画所蔵作品上映（案） 2018年7月～4週間（予定） ○明治期に撮られた映画、明治期を題材にした映画等を用いて、人々が「明治」をいかに捉え、描いたかを検証する。</p>  <p>「明治天皇と日露大戦争」</p>	<p>所蔵作品展「明治150年展」（仮称） 2018年3月20日（火） ～5月20日（日）（予定） ○幕末から明治に至る精巧な工芸品いわゆる「超絶技巧」と評される作品を中心に、当時の作家達がどのように「近代」を迎え後世へとつないでいったのかを再考し検証する。</p>  <p>並河靖之《藤図花瓶》</p>
--	---	--	---

企画展『生誕150年 横山大観展』開催
東京国立近代美術館（2018年4月13日（金）～5月27日（日））
京都国立近代美術館（2018年6月8日（金）～7月22日（日））

重要文化財
《生々流転（部分）》



独立行政法人国立文化財機構「明治150年」関連事業について

東京国立博物館

(概要)

本館
縄文時代から江戸時代まで、時代を追って展示する「日本美術の流れ」と、彫刻、陶磁、刀剣など、各分野の作品をじっくり鑑賞できる分野別展示と企画展示で構成。

(展示概要)

特集「書と絵が語る明治」
(仮称)

2018年7月10日(火)～
9月2日(日)

本館2階特別1・2室
○幕末明治の変革期に活躍した著名な政治家や文化人のさまざまな書作品と、絵画資料を紹介する。



西郷隆盛筆
額字「敬天愛人」

所蔵品「明治150年」
関連展示

2018年1月2日(木)～
12月25日(日)

本館1階18室
○万国博覧会への出品作や帝室技芸員の作品、日本美術の近代化を考える上で重要な意味を持つ明治期の作品を年間を通じて展示する。



重要文化財
初代宮川香山作
褐釉蟹貼付台付鉢

独立行政法人国立文化財機構

(概要)

国立文化財機構の東京・京都・奈良，九州の国立博物館の所蔵品を横断的に検索できるシステム「ColBase (コルベース)」にて，明治期の文化財を閲覧可能。

(システムイメージ)

ColBase

国立博物館所蔵品統合検索システム